

1. 植物相調査

生物班 天野景徒 羽場茂也
前田和彦 藤正孝
田中慶彦

A 地勢

美杉村は鈴鹿山系の南端に位し、南は大台ヶ原山系に続き、西部は室生火山系に接して倶留尊山が出現している。

村の中央を雲出川が流れ、東に八手俣川が流れて竹原で合流している。この両川の間を高来山及び高所山などが起伏している。八手俣川の東の高地には髯山、雨乞山、高須峯等が村の境界をなしている。雲出川上流南の山地は天然林になっている。雲出川の西は美杉村の最高峰大洞山(1,012m)がそびえその西のふもとには名張川の原流がある。従って瀑布あり溪谷ありその景観は多寄をきわめ高所、山麓及び谷間等にはめづらしい植物の群落がある。

奥津観測所の統計による気象状況は次の通りである。

a 気温(°C)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	9.0	6.8	11.8	21.3	24.2	23.4	31.1	31.5	27.3	20.5	15.1	11.1
最低	-0.3	-1.1	0.6	10.9	10.3	14.8	21.5	22.1	18.5	10.8	3.2	0.2

b 雨量(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(mm)	67	82	113	171	181	251	215	306	439	193	103	62
降雨日数	8	8	12	12	12	15	13	11	15	11	8	7

B 植物相

徳川時代から杉の造林が行なわれていたので美杉がよく茂っており天然林としての原始林は一部にその跡を残している。南部の平倉地区すなわち三重大学の演習林の地区は天然林として針広両葉樹の混林をなしている。また、西の倶留尊の山頂附近にも広葉樹林の天然林が僅かに認められる。

巨木としての名木は比較的少なく、神社仏閣の境内に僅かに見られるのみである。太郎生の国津神社のけやきは巨木が数本天に聳えている。

次に述べる植物相は昭和40年7月～11月に亘る採集調査にもとづくものでありその概観にすぎない。

a. 主な暖地性植物

山地に自主する主な暖地性植物は広葉樹が多く、常緑のも落葉木もあって混交林をなしている。高木も低木もあって雑木林を形成している。

やまぐるま科	やまぐるま、ながばやまぐるま
くす科	しきみ、やぶにつけい、いぬがし
ばら科	かなめもち
まめ科	ねむのき
みかん科	からすのさんしょう
どうだいぐさ科	あかめかしわ、しらき
つばき科	さかき、やぶつばき、さかき
うこぎ科	かくれみの(みそふた)
つつじ科	あせび
ひがんばん科	きつねのかみそり
やまのいも科	やまのいも
しだ類	まめづた

b. 主な南部系植物

1. 裸子植物

いちい科	かや
もみ科	いぬがや、もみ、つが
まつ科	あかまつ

2. 被子植物

やなぎ科	きつねやなぎ、やまやなぎ
かばのき科	やしやぶし、よぐそみねばり、くましで、いぬしで、ねこしで
おな科	おなのき、ほそばがし、つくばながし、うらじろがし、いぬおな、こなら
にれ科	けやき
いらくさ科	やぶまお、かてんそう
ふさぎくら科	ふさぎくら
きんぼうげ科	やまとりかおと、ぼたんづる、はんしょうづな、とりがたはんしょうづる やましゃくやく、おきなぐさ
あけび科	あけび
つづらふじ科	あおつづらふし
もくれん科	かごのき、たむしば
くすのき科	あぶらちゃん、うらじそのき、あおばくろもじ、かなくぎのき、くろもじ
ゆきのした科	まるばあぢさい、つるしきみ、あわもりしょうま、くびれあぢさい、こが ねねこのめさう、じんじさう

- あぶらな科　　ゆりわさび
ばら科　　かまつか、なんきんななかまど
さくら科　　やまぎくら、ながばのやまぎくら、いぬぎくら
まめ科　　ふぢき、ゆくのき
まつかせそう科　　いぬざんしょう、さんしょう
かたばみ科　　みやまかたばみ
にがき科　　こぼんのき
もちのき科　　そよご
にしきぎ科　　おおまゆみ、くわんさいまゆみ、つるまさき
かえで科　　えんこうかえで、たかおもみち、ちどりのき、うりかえで、おおいたやめい
げつ
あわぶき科　　あわぶき
くろうめもどき科　　けんぼなし、こぼのくろう、めもどき、おおくまやぎ
またたび科　　うらじろまたたび
つばき科　　ひめしゃら、やまつばき
すみれ科　　ひなすみれ
きぶし科　　きぶし
ぐみ科　　かうやぐみ
つつじ科　　もちつつじ、あかやしお、べにどうだんつつじ
はいのき科　　たんなさわふな
えごのき科　　えごのき、あおばあさがら、あさがら
もくせい科　　ひいらぎ、いぼたのき、つくしとねり、やまとあおだも
りんどう科　　ふでりんどう
むらさき科　　おおるりそう
しそ科　　みかえりそう、みやまなみき
なす科　　はしりどころ
うり科　　もみじからすうり
ごまのはぐさ科　　しこくままこな
ききょう科　　ほたるぶくろ
きく科　　りゅうのうぎく、もりあざみ、かしわばはぐき、くわんせいたんぼぼ
ゆり科　　さるとりいばら、ほそばしほで

c. 主な北部系植物

被子植物門

双子葉植物

せんりょう科 ふたりしづか

やなぎ科 はこやなぎ、やまねこやなぎ

くるみ科 おにぐるみ、さわぐるみ

かばのき科 ひめやしあぶし、さわしば、つのはしばみ、あさだ

ぶなのき科 みづなら、こなら

にれ科 げやき

いらくさ科 うわばみそう

やどりぎ科 やどりぎ

もくれん科 ほほのき、こおし、まつおさ

かつら科 かつら

きんぼうげ科 にりんそう

あぶらな科 わさび

ゆきのした科 やしゃびしゃく

まんさく科 まんさく

ばら科 うわみずぎくら、げやまぎくら

みかん科 きはだ

うるし科 つたうるし

もちのき科 うめもどき、まるぼうめもどき

かえで科 みつでかえで、いたやかえで、あさのはかえで、こはうちのかえで

とちのき科 とちのき

つりふねそう科 きつりふね

ぶどう科 ごどうづる

さるなし科 さるなし

うこぎ科 はりぎり、たかのつめ

いわうめ科 いわかかみ

りょうぶ科 りょうぶ

いちゃくそう科 じんよういちゃくそう

つつじ科 さいこくみつばつつじ、きれんげつつじ、あくしば

あかね科 きぬたそう、おおばよつばむぐら

すいかずら科 むしかり、みやましぐれ、みやまがまずみ

羊歯植物

くじゃくしだ、みやまいたちしだ、おしゃくじでんだ、わうれんしだ、ならいしだ、へびの
ねごぎ、みやまのきしのぶ、いれでんだ、まんねんすぎ